

# ナブテスコ株式会社 2015年3月期決算説明会

2015年5月13日



当資料に掲載されている内容は、種々の前提に基づいたものであり、掲載された将来の計画数値、業績の実現を確約したり、保証したりするものではありません。  
当資料に掲載されている内容のうち数値は表示単位未満を切り捨て、比率は四捨五入して表示しています。

## アジェンダ

1. 2015年3月期連結業績概況

2. 2015年12月期見通し

3. 中期経営計画について



Nabtesco

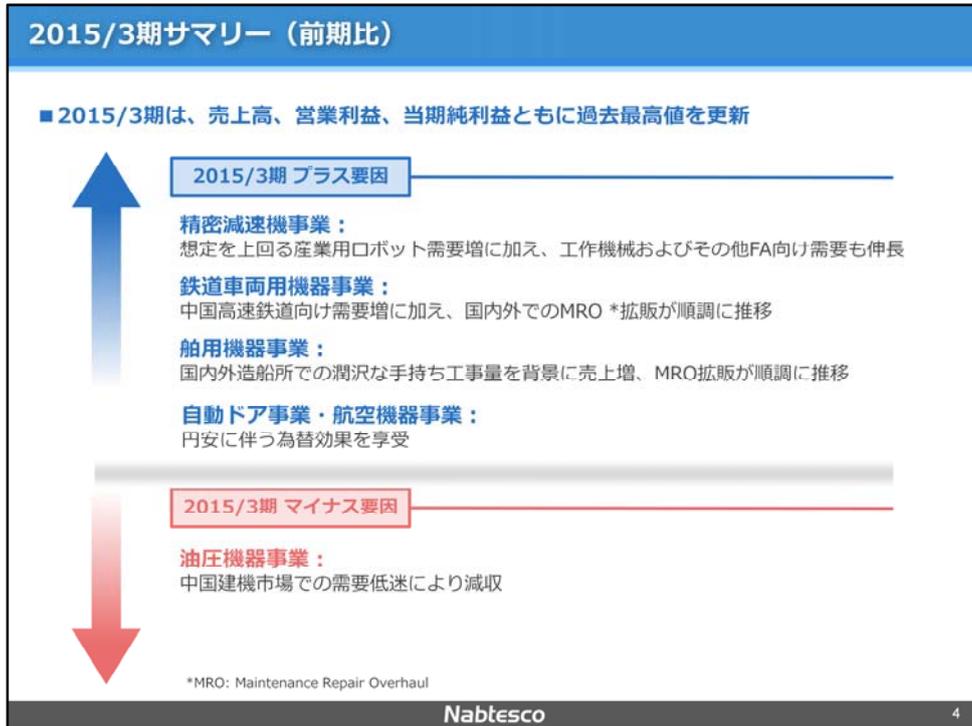
2

・ 当社は、今年度より決算日を3月31日から12月31日に変更することを予定。従いまして、通期業績予想においては、当社及び日本国内連結子会社につきましては9カ月間(2015年4月～12月)、海外連結子会社については12カ月間(2015年1月～12月)を連結対象期間とした予想数値を決算短信で記載する。

また、昨年度「2015年3月期実績」に対して、今年度も同条件で比較を行うため、比較対象期間を同期間(当社及び国内外連結子会社12カ月間ベース)に置き換え、「2015年12月期計画(参考値)」として業績数値を算出したので、ご留意下さい。

# 1. 2015年3月期連結業績概況





- ・ 船用機器事業は事業規模が小さいが、2015/3での増収増益率は著しい。
- ・ 油圧機器事業は中国建機市場での需要低迷により減収し、今後の回復は依然不透明。

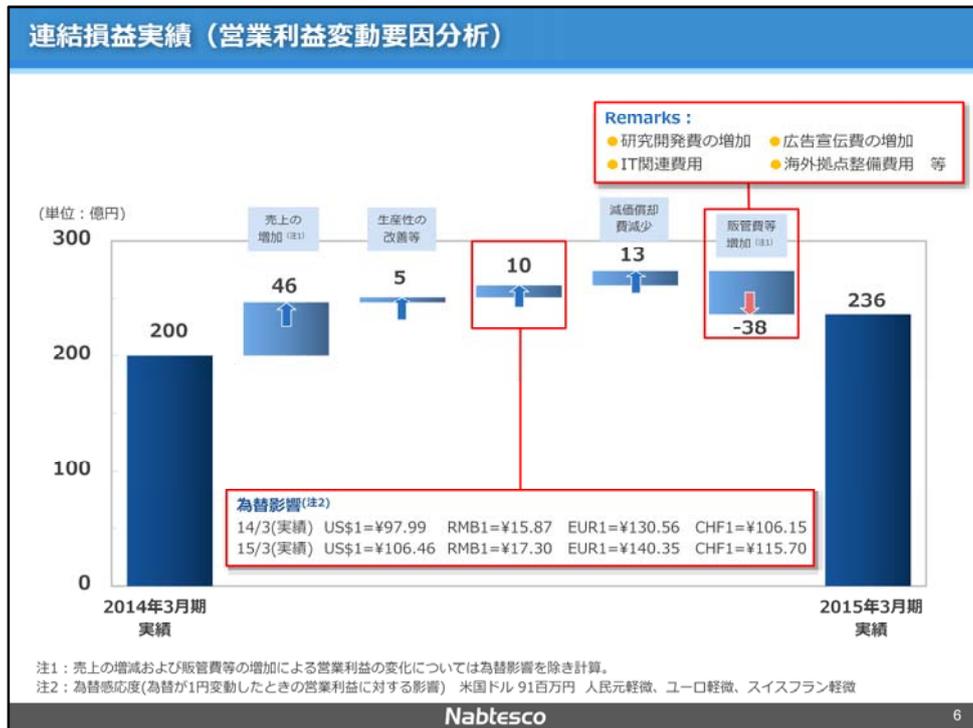
## 連結業績概況

### ■ 売上および各利益とも1/30修正予想値を達成、増配を予定

(単位：百万円)	2014/3 実績 (A)	2015/3 1/30 修正予想	2015/3 実績 (B)	前期比 増減額 (B-A)	前期比 増減率 ((B-A)/A)
売上高	202,292	217,000	219,657	17,365	8.6%
営業利益	20,092	23,000	23,615	3,522	17.5%
(営業利益率)	9.9%	10.6%	10.8%	0.9pt	-
営業外損益	4,134	-	3,578	-556	-
経常利益	24,227	26,100	27,193	2,966	12.2%
特別損益	-705	-	-166	538	-
税金等調整前 当期純利益	23,522	-	27,026	3,504	14.9%
当期純利益	14,978	17,200	17,746	2,768	18.5%
一株当たり 純利益	117.95円	135.92円	140.24円	22.29円	
一株当たり 配当金	38円	40円	44円(予)	6円	
配当性向	32.2%	29.4%	31.4%(予)	-0.8pt	

Remarks :  
**特別損益 (損失の主な内容：前期比)**  
 ● 退職給付制度改訂損等の未発生  
 ● 固定資産売却益の減少

注：当社海外子会社に関しては1～12月決算であり、3ヶ月分の期ずれが生じております。



- ・ 前年同期比での増益要因は以下通り。
  - 売上増による増益 +46億円
  - 減価償却方法の変更による減価償却費減少 +13億円
  - 為替効果 +10億円、うち自動ドア事業と航空機器事業が大半占めている
- ・ 前年同期比での減益要因：
  - 将来の成長のための先行投資である販管費等は前年同期比で38億円増加。

BS概況				
■ 自己資本比率の適正化が課題				
(単位：百万円)	2014/3期末 2014年3月31日現在	2015/3期末 2015年3月31日現在	差異	
資 産	233,984	245,992	12,007	
( 現 預 金 等 )	53,725	51,157	-2,568	
( 売 上 債 権 )	52,840	57,115	4,275	
売上債権回転日数	88日	91日	3日	
( 棚 卸 資 産 )	22,233	25,165	2,931	
棚卸資産回転日数	53日	55日	2日	
( 有 形 固 定 資 産 )	55,225	56,877	1,651	
負 債	94,513	87,327	-7,185	
( 有 利 子 負 債 )	26,204	16,659	-9,544	
純 資 産	139,471	158,664	19,192	
( 新 株 予 約 権 )	306	391	84	
( 少 数 株 主 持 分 )	8,121	8,410	289	
自 己 資 本	131,043	149,862	18,818	
※ 自己資本比率：	56.0%	60.9%		

**Remarks :**

- 長期借入金の返済  
-10,000百万円

**Remarks :**

- 利益剰余金  
+13,329百万円
- 為替換算調整勘定  
+ 3,656百万円
- その他有価証券評価  
差額金  
+1,663百万円

- ・ 現在取締役会で自己資本比率の適正化を含めた財務戦略を討議しており、後日改めて財務戦略を報告する。

## 2. 2015年12月期見通し



## 決算期変更および計画値の表記について

2015年12月期(短信ベース)

(国内9カ月、海外12カ月)

	2015年											
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
当社および国内連結子会社				第1四半期			第2四半期			第3四半期		
海外連結子会社				第1四半期			第2四半期			第3四半期		

短信ベース連結業績期間

第1四半期

第2四半期

第3四半期

2015年12月期(参考)

(12カ月間)

	2015年												2016年		
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
当社および国内連結子会社				第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期		
海外連結子会社				第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期		

「2015年12月期(参考)」として示す数値は、「2015年3月期業績」に対して、同条件で比較を行うため、比較対象期間を同期間(12カ月間)に置き換えて算出した数値となりますのでご留意下さい。

\*決算期変更は2015年6月開催予定の第12回定時株主総会で「定款一部変更の件」が承認されることを条件とします。

Nabtesco

9

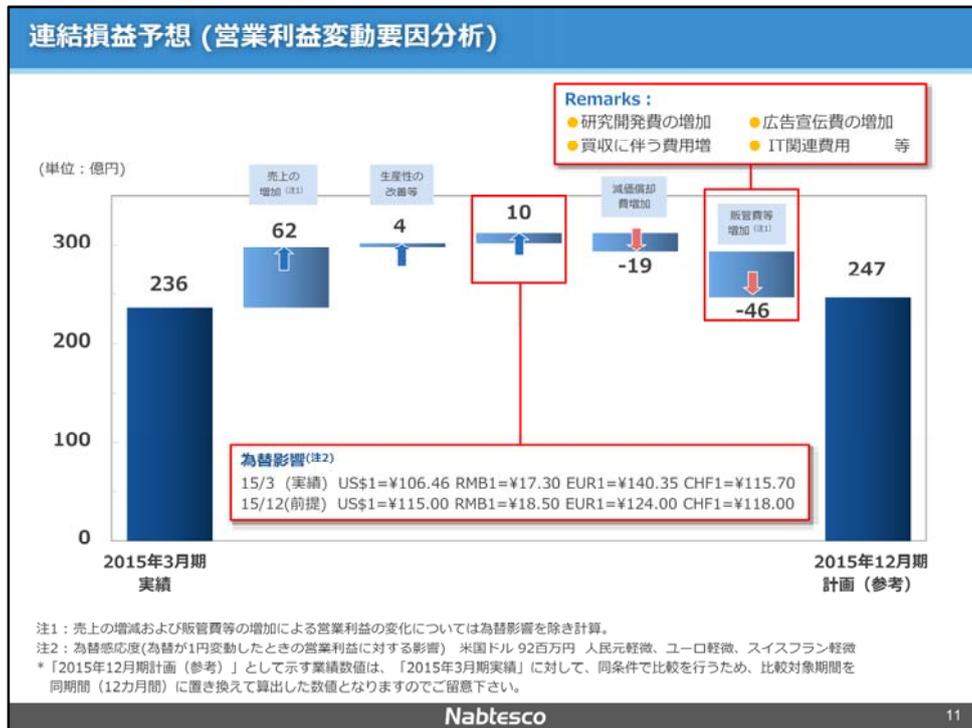
- ・ 短信ベースでは、当社及び日本国内連結子会社については9カ月間(2015年4月～12月)、海外連結子会社については12カ月間(2015年1月～12月)を連結対象期間とした予想数値を決算短信で記載している。従来の第4四半期(当社および日本国内連結子会社)は連結対象外。

## 通期連結業績見通し

### ■ 2015/3期に続き、2015/12期は参考値ベースで、売上高、営業利益、当期純利益ともに最高値を更新する見通し

(単位：百万円)	2015/3 実績 (A)	2015/12 計画(参考) (B)	前期比 増減額 (B-A)	前期比 増減率 ((B-A)/A)	2015/12 計画 (短債ベース)	Remarks
売上高	219,657	242,000	22,342	10.2%	200,000	<b>Remarks：売上高(参考vs実績)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>油圧機器・自動ドアでの買収に伴う売上増</li> <li>産業用ロボット向け精密減速機の需要増</li> <li>中国向け鉄道車両用機器の需要増</li> </ul>
営業利益	23,615	24,700	1,084	4.6%	17,900	<b>Remarks：</b> <b>営業利益率(参考vs実績)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>増収効果を見込むものの、中長期的な成長に向けた戦略投資負担により微減</li> </ul> <b>営業利益率(参考vs短債ベース)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>国内外での集計対象期間の相違および季節性の影響による差異</li> </ul>
(営業利益率)	10.8%	10.2%	-0.6pt	-	9.0%	
経常利益	27,193	26,800	-393	-1.5%	19,700	
当期純利益	17,746	18,400	654	3.7%	13,400	
ROA	7.4%	7.2%	-	-	5.3%	
ROE	12.6%	11.9%	-	-	8.8%	
一株当たり配当金	44円(予)				44円(予)	<b>Remarks：</b> <b>配当金</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>2015年12月期は決算期変更により決算期間が短縮されるものの、配当の時期は、9月30日、12月31日を基準日とした年2回の配当を実施予定</li> </ul>
配当性向	31.4%(予)				41.6%(予)	

「2015年12月期(参考)」として示す数値は、「2015年3月期業績」に対して、同条件で比較を行うため、比較対象期間を同期間(12カ月間)に置き換えて算出した数値となりますのでご注意ください。



- ・ 2015/3に比べ、2015/12計画(参考)の増益要因:
  - 売上増による増益 +62億円
- ・ 前年同期比での減益要因:
  - 販管費等 46億円増加
    - 内訳: 研究開発費 12億円
    - 広告宣伝費 4億円 (昨年は発生した半期分の広告宣伝費が今期フルで計上する見込み)
    - IT関連費用 4億円 (①精密減速機事業中国新工場のシステム対応  
②全社セキュリティ強化)
    - 国内外子会社整備費用等 26億円
  - 設備投資増による減価償却費増加 19億円

## 精密機器事業

### 業績実績及び計画



### 前期比増減要因

#### 精密減速機

15/3 : 自動車産業の旺盛な設備投資に牽引された産業用ロボット、工作機械およびその他FA向け需要の伸長により増収  
 15/12(参考) : 旺盛な設備投資の持続により、増収の見通し

#### 新エネルギー事業

15/3 : 風力発電向け売上が為替効果により微増  
 15/12(参考) : 前期における風力発電機用駆動装置での一部調達品不具合の影響が一巡し、増収の見通し

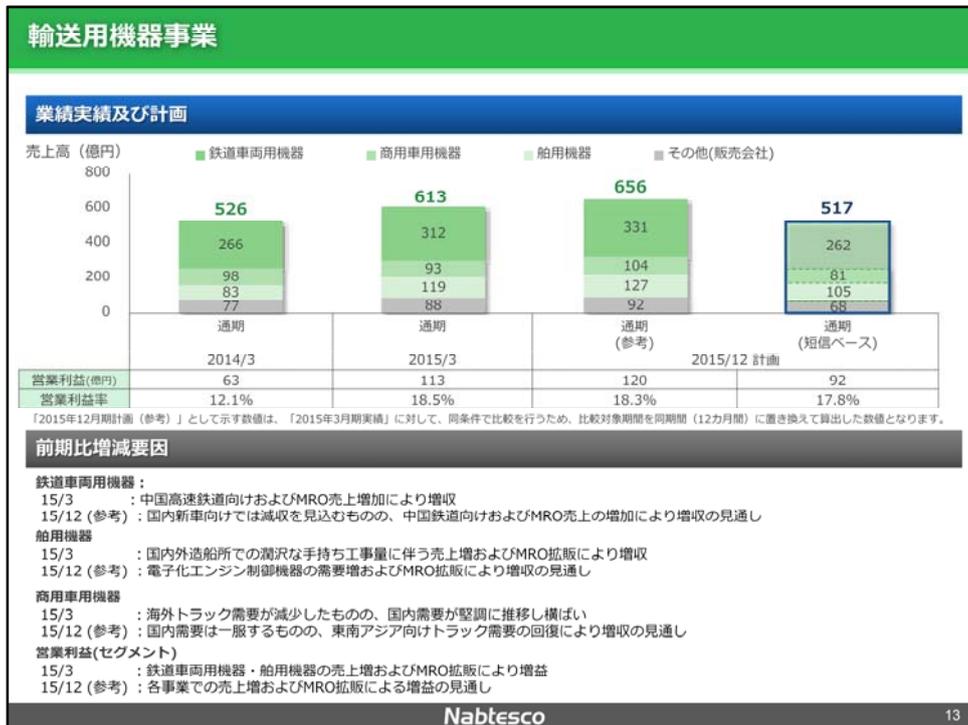
#### 営業利益(セグメント)

15/3 : 精密減速機の売上増加および新エネルギー事業でのコスト削減により増益  
 15/12(参考) : 精密減速機での津工場能力増強費用・中国新工場の立ち上げ費用が発生するものの、増収効果により増益の見通し

Nabtesco

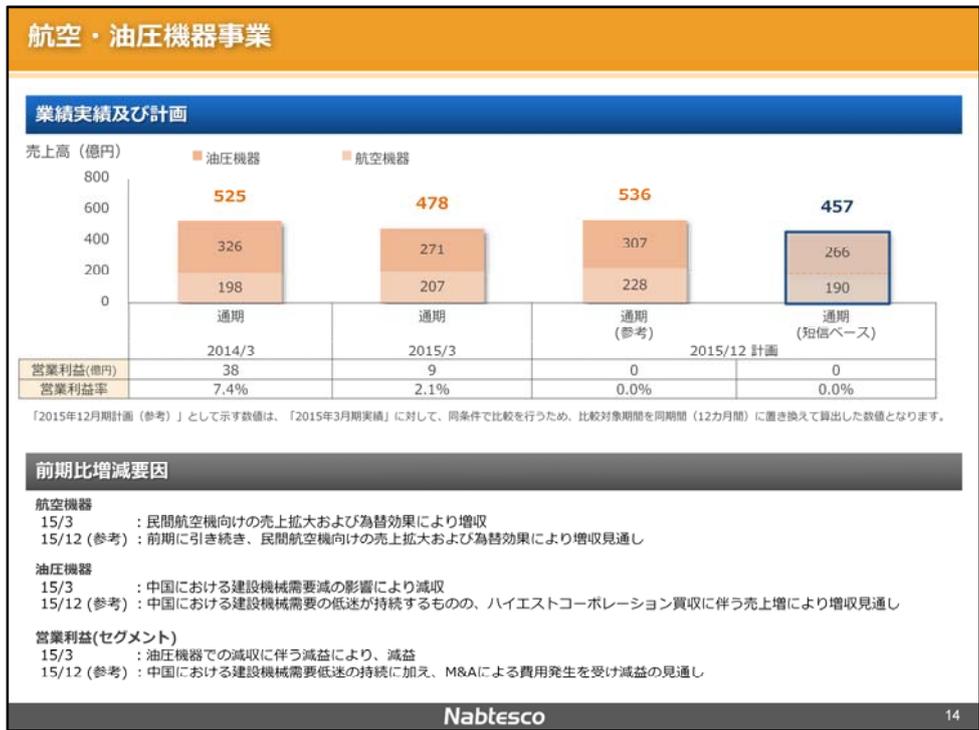
12

- ・ 全社ベースで増加する販管費の負担に加え、精密減速機中国新工場の立ち上げおよび津工場での生産能力増強に伴う費用が発生するものの、増収効果で2015/12計画(参考)では精密機器セグメントの営業利益率は前期並みレベルの16.0%となる見込み。



- ・ 輸送用機器セグメントでは三つの事業ともMRO\*ビジネスを抱えており、事業環境の変動には対抗力がある。
- ・ 2015/12計画(参考)では鉄道機器事業は中国鉄道向けを中心に増収増益となり、船用機器事業では電子化対応機器が想定以上に増加する見込み。
- ・ 商用車機器事業では国内市場が横ばいとなるものの、東南アジア市場の回復により前期比で増収増益となる見込み。

\*MRO: Maintenance, Repair, Overhaul



- ・ 航空機器事業では受注済みの新規プログラム(MRJ, B737 MAX)量産に向け、2015から2016年にかけて生産能力を増強し、先行投資していく。
- ・ 油圧機器事業ではハイエストコーポレーションの買収により増収の見込み。2015年度に、中国2工場の統合を完了し、過剰生産能力を30%削減、固定費の削減につなげる。削減した生産設備は精密減速機中国新工場と油圧機器のタイ工場に転用する予定。

買収後の融合および中国油圧機器事業の再編については、スピード感を持って実行する。



- ・ 自動ドア事業では2015/3に北米での買収効果により2015/12(参考)は増収の見込み。  
2015/3に発生した一過性の要因がなくなり、増益の見通し。
- ・ 包装機事業は海外サービスネットワークの拡充により2015/12(参考)に増収増益となる見通し。
- ・ 上記2事業はファブレスのため、加工による操業益を期待しにくいですが、大きな設備投資を伴わず、景気変動によるダメージが少ない。

## 設備投資額・研究開発費・減価償却費

### ■ 中長期での成長に向け設備投資・研究開発費を増加

(単位：百万円)	2014/3 実績	2015/3 実績	2015/12 計画(参考)
設備投資額	6,760	6,918	18,000
研究開発費	6,401	6,876	8,000
減価償却費	7,600	6,258	8,200

「2015年12月期計画(参考)」として示す数値は、「2015年3月期実績」に対して、同条件で比較を行うため、比較対象期間を同期間(12カ月間)に置き換えて算出した数値となります。

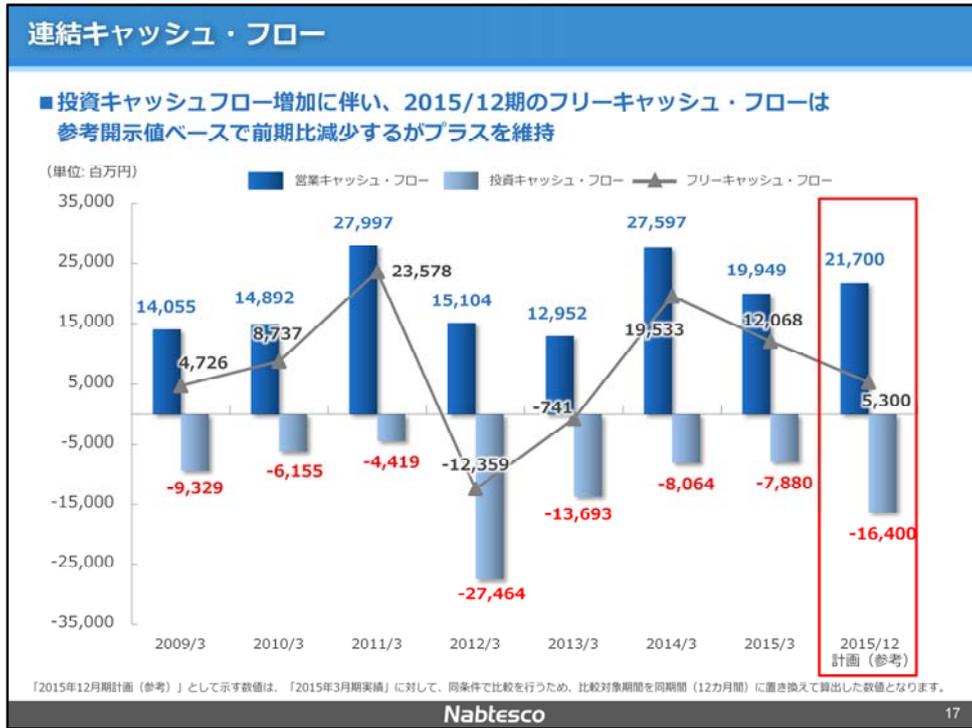
#### Notes

- 設備投資：15/12期計画は参考値ベースで、大幅な増加を見込む。前期末消化分の繰り越しに加え、国内工場の近代化および精密減速機・航空機器での増産対応を予定
- 研究開発費：基盤技術の強化、新製品開発を積極化

Nabtesco

16

- ・ 2015/12計画(参考)ベースでは設備投資額は前期比+110億円の見通し。前期の未消化分に加え、精密減速機事業中国新工場・部品加工工場・航空機器事業での生産能力増強を中心に増加する。
- ・ 減価償却費は設備投資額の増により19億円増加する見込み。
- ・ 研究開発費について、本社部門は前期比で+4億円であり、事業部門は+7億円の見通し。事業部門での増加分は顧客による直接要求であり、次年度にそれなりの効果が発現できる。



- ・ 2015/12計画(参考)ベースで、大きな設備投資によりフリーキャッシュ・フローは53億円となる見込みだが、黒字は確保できる。

### 3. 中期経営計画について



## 中期経営計画の進捗

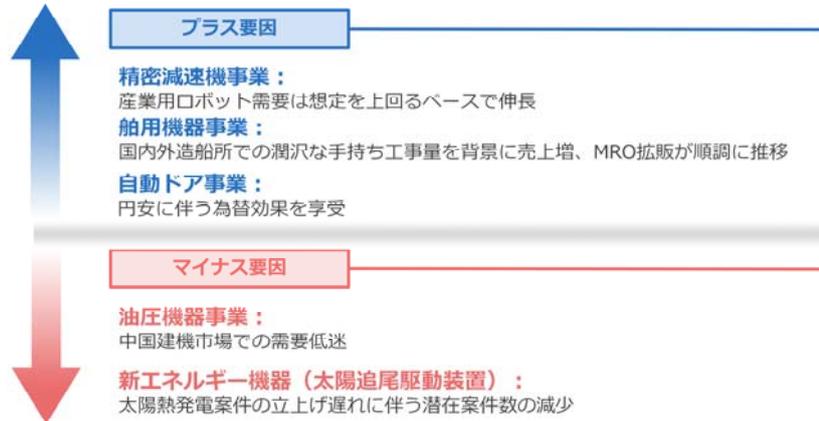
### ■ 中期経営計画最終年度の計画達成を目指す

	2015年3月期 実績	2015年12月期 計画 (参考)	2017年3月期 中期計画最終年度
売上高	2,196億円	2,420億円	2,800億円±5%
営業利益	236億円	247億円	340億円
営業利益率	10.8%	10.2%	12.0%
当期利益	177億円	184億円	240億円
EPS	140.24円	145.39円	190円
ROA	7.4%	7.2%	7.5%
ROE	12.6%	11.9%	15.0%
配当額	44円(予)	-	-
配当性向	31.4%(予)	-	30%以上

「2015年12月期計画（参考）」として示す数値は、「2015年3月期実績」に対して、同条件で比較を行うため、比較対象期間を同期間（12カ月間）に置き換えて算出した数値となります。

## 中期経営計画公表時からの事業環境変化

■ 中計最終年度に対するプラス要因・マイナス要因を踏まえ、全社ベースでの計画達成へ



### Notes

為替前提を変更

公表時計画（2014年5月時点）：US\$1=¥100.00 RMB1=¥16.40 EUR1=¥130.00 CHF1=¥107.00  
調整後計画（2015年5月時点）：US\$1=¥115.00 RMB1=¥18.50 EUR1=¥124.00 CHF1=¥118.00

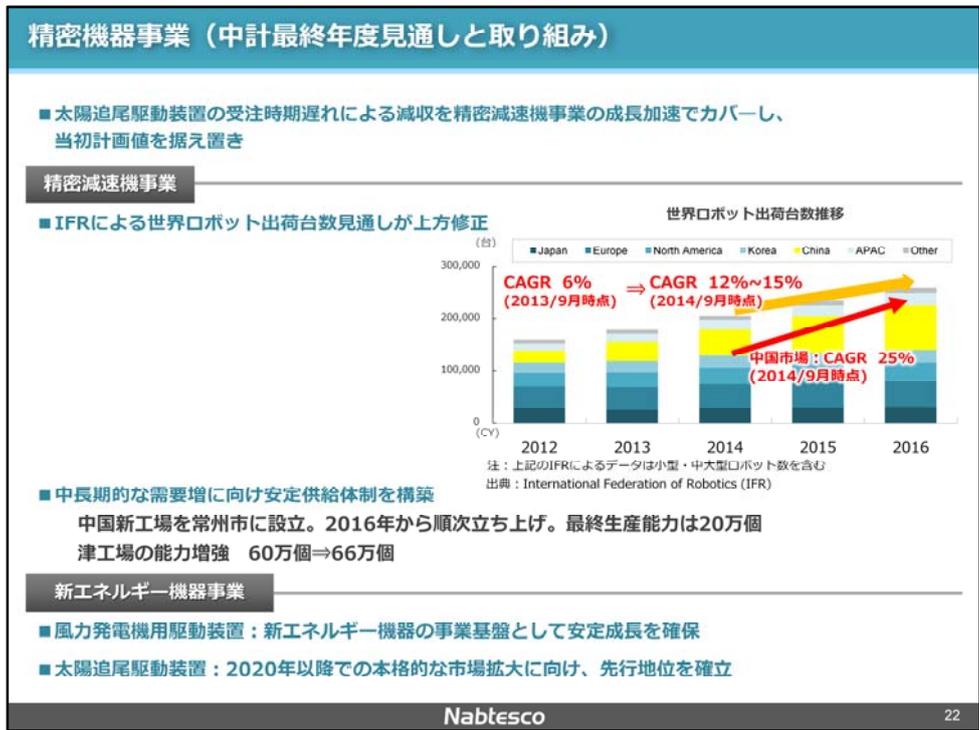
## 中期経営計画 セグメント別 売上高・営業利益見通し

■ 中計最終年度でのセグメント別売上高・営業利益に事業環境の変化を反映

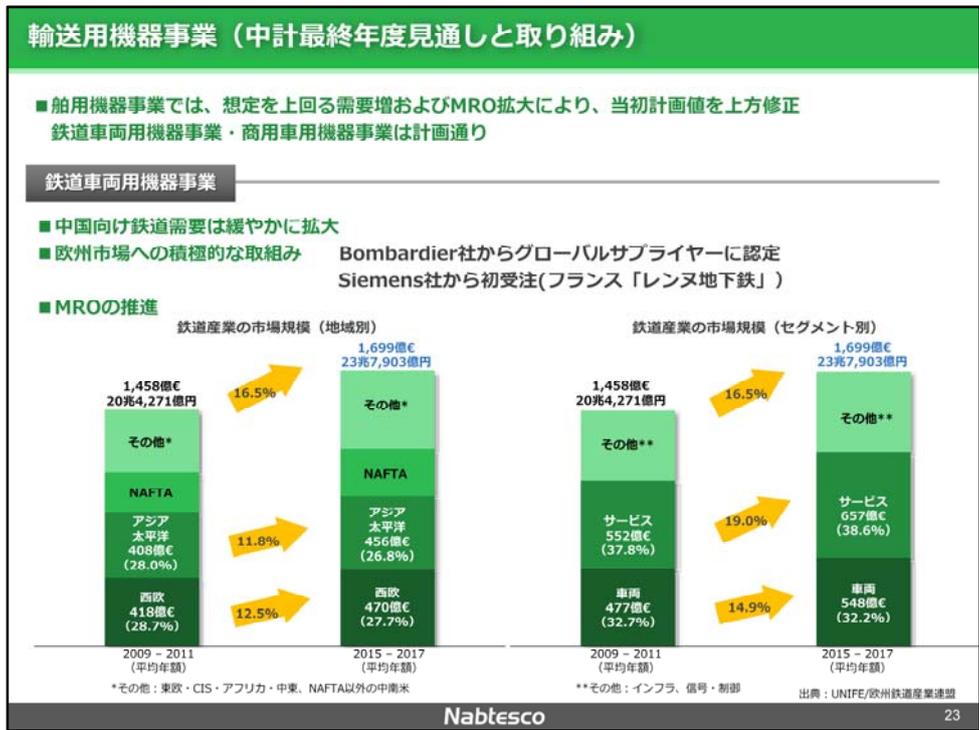


Nabtesco

21



- ・ 小型ロボットが比較的に成長幅が大きく、当社は中大型ロボットを中心に提供しているため、年率成長を10%と設定している。
- ・ 産業用ロボット向けの成長及びその他アクチュエーターの拡販は新エネルギー機器事業の減をカバーする見込み。
- ・ 中長期的な需要増に向けて精密減速機津工場の能力増強と中国新工場の立上げに先行投資する。

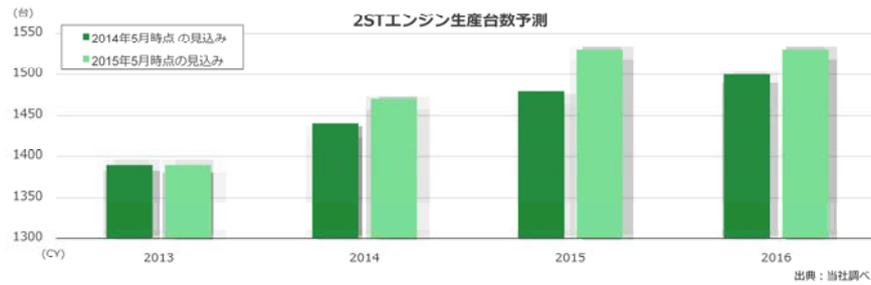


- ・ 鉄道車両用機器事業は、中国を中心としたアジア及び欧州でのビジネス展開を期待されている。
- ・ 中国の高速鉄道については、2016年からの国産化リスクを織り込んでいたが、現状ではそのリスクは小さいと見ている。
- ・ 欧州市場の参入は計画より一年前倒しで進んでいる。Bombardier社からグローバルサプライヤーに認定されることと、Siemens社からの初受注は、2年前イタリアにある鉄道車両用ドアメーカーOclap社買収の果実だ。

## 輸送用機器事業（中計最終年度見通しと取り組み）

### 船用機器事業

- 国内外造船所の手持ち工事量増加の恩恵を享受
- 電子化エンジン需要が好調
- MROの推進



### 商用車用機器事業

- タイ工場拡大による需要の取り込み強化
- インドでのマーケティング強化・受注拡大

Nabtesco

24

- ・ 中国新工場の立上げと同時に、船用機器の需要が増え、業績に寄与している。

## 航空・油圧機器事業（中計最終年度見通しと取り組み）

- 油圧機器事業での中国建機市場向け需要減少の影響により、当初計画値を下方修正  
航空機器は計画通り

### 航空機器事業

- 民間航空機向け受注済みプログラムの次期中期計画以降での寄与を見込む（B737MAX、MRJ、B777X）
- 現中期計画期間では、2017年スタートの次期中期計画に向けた生産体制の拡充を行う



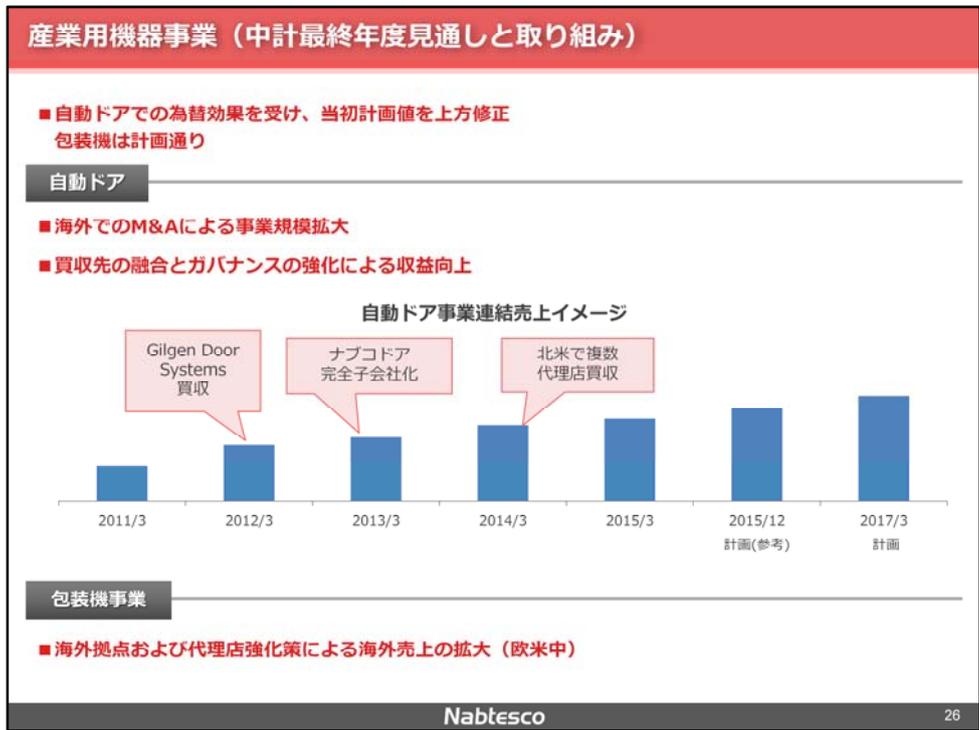
### 油圧機器事業

- 中国建機市場は15年を底に16年からの回復を見込む
- 収益性改善に向け、中国工場の再編効果およびハイエスト買収によるシナジーを追求

#### ハイエスト買収に伴う製品ラインアップ拡充

	中・大型 (7t以上)					小型 (7t未満)				
	シリンダ	走行	旋回	ポンプ	バルブ	シリンダ	走行	旋回	ポンプ	バルブ
当社		●					●			●
ハイエスト			●	●	●			●	●	●

・ 中期計画の達成に向けて、特に利益面では、重要なポイントは油圧機器事業の収益改善だ。現状中国2工場の再編を含め、4月に買収したハイエスト社との融合を図って構造改革を行っている。特にハイエスト社との統合は2015年12月までに実行し、2016年からの利益貢献を期待している。



・ 2011年Gilgen社の買収後、自動ドア事業はM&Aを中心に売上規模を拡大してきたが、利益効率向上はうまくいっていない。2015/3にIT関連投資といった予定外の費用が発生し、収益性が健全ではなかったと認識している。今年度から徐々に収益性の改善を伴う成長が見込める。

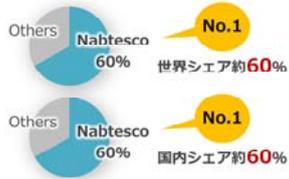
# Appendix



## 精密機器セグメント 主要製品

### 精密減速機

#### ■ 産業用ロボットの関節用途



#### ■ 工作機械 ATC駆動分野 (ATC = Automatic Tool Changer)



### 新エネルギー機器

#### ■ 太陽追尾駆動装置



#### ■ 風力発電用駆動装置



### 主要顧客 (敬称略)

#### ■ 精密減速機

産業用ロボット：ファナック、安川電機、川崎重工業、KUKA Roboter (独)、ABB Robotics (スウェーデン)  
 工作機械：ヤマザキマザック、オークマ、DMG森精機

#### ■ 新エネルギー事業

太陽追尾装置：Cobra Thermosolar Plant (スペイン)  
 風力発電機用駆動装置：三菱重工業、日立製作所、他

## 輸送用機器セグメント 主要製品

### 鉄道車両用機器

#### ■ 鉄道車両用ブレーキシステム



#### ■ 鉄道車両用ドア開閉装置



### 商用車用機器

#### ■ 商用車用ウェッジチャンパー



#### ■ 商用車用エアドライヤー



### 船用機器

#### ■ 船用エンジン遠隔制御システム



### 主要顧客 (敬称略)

#### ■ 鉄道車両用機器

JR各社、民鉄各社、川崎重工業、中国高速鉄道・都市交通向け

#### ■ 商用車用機器

日野自動車、三菱ふそうトラック・バス、いすゞ自動車、UDトラック

#### ■ 船用機器

川崎重工業、三井造船、三菱重工業、日立造船

Hyundai Heavy Industries (韓)、Doosan Engine (韓)、Hudong Heavy Machinery (中)、MAN Diesel (デンマーク)

Nabtesco

29

## 航空・油圧機器セグメント 主要製品

### 航空機器

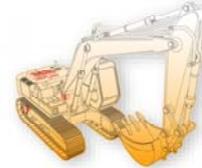
#### ■ フライトコントロール・アクチュエーションシステム(FCA)

- FCAでは世界4強の1社(ボーイングの主要サプライヤー)
- エンジン補機、電源システム等へも事業展開



### 油圧機器

#### ■ パワーショベル用走行モーター



### 主要顧客 (敬称略)

#### ■ 航空機器

Boeing (米)、川崎重工業、三菱重工業、IHI、防衛省、エアライン各社

#### ■ 油圧機器

走行モーター：コマツ、コベルコ建機、クボタ、住友建機、Sany、Zoomlion、Xugong Excavator、Liu Gong

Nabtesco

30

## 産業用機器セグメント 主要製品

### 自動ドア

#### ■自動ドア開閉装置



#### ■プラットホームスクリーンドア



### 包装機

#### ■レトルト食品用充填包装機



### 主要顧客 (敬称略)

#### ■自動ドア

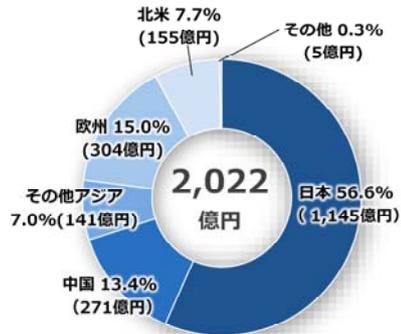
各種建物用自動ドア：大手ゼネコン他建設工事会社、サッシメーカー、病院、銀行、公共機関  
プラットホームドア：フランス地下鉄、中国地下鉄、他

#### ■包装機

三井製糖、味の素、丸大食品、アリアケジャパン、ケンコーマヨネーズ、P&G、花王、ライオン、  
北米飲料メーカー、中国食品メーカー

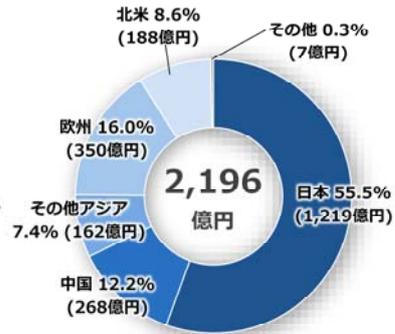
## 地域別売上高構成比

2014/3実績



海外売上高	877億円
海外売上高比率	43.4%

2015/3実績



海外売上高	977億円
海外売上高比率	44.5%

### Notes

- 精密減速機および自動ドアの欧州・北米向け売上の拡大、航空機器の北米向け売上増加
- 油圧機器の中国向け売上減少
- 上記の結果、海外売上高比率は44.5%に上昇

# 設備投資額内訳

## セグメント別



- 国内社宅更新
- ITインフラ整備
- 国内外各工場の設備更新を含めた近代化投資

- 精密減速機
- 中国新工場建設
- 津工場増産対応
- 航空機器 岐阜工場設備増強

## 目的別



2014/3実績

2015/3実績

2015/12計画 (参考)

「2015年12月期計画 (参考)」として示す数値は、「2015年3月期実績」に対して、同条件で比較を行うため、比較対象期間を同期間 (12カ月間) に置き換えて算出した数値となります。

## 配当額・配当性向の推移

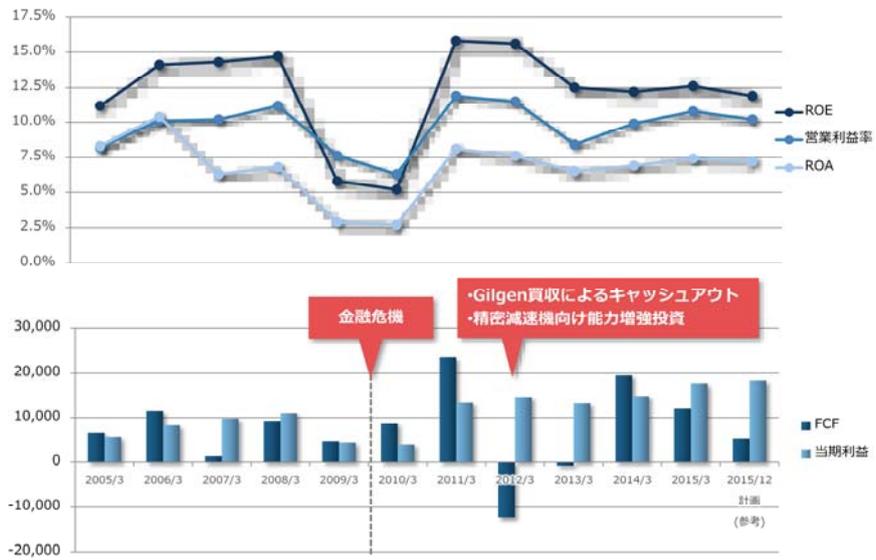
■ 安定配当を考慮しつつ、配当性向30%以上を維持



Nabtesco

34

## ROA/ROE推移



「2015年12月期計画（参考）」として示す数値は、「2015年3月期末実績」に対して、同条件で比較を行うため、比較対象期間を同期間（12カ月間）に置き換えて算出した数値となります。

## 事業セグメント別 売上高・営業利益推移



「2015年12月期計画(参考)」として示す数値は、「2015年3月期実績」に対して、同条件で比較を行うため、比較対象期間を同期間(12カ月間)に置き換えて算出した数値となります。

## 事業別 売上高推移



Nabtesco

## 事業別 売上高推移



Nabtesco

38

## トピックス

- |          |   |   |
|----------|---|---|
| 2014年4月  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ナブテスコグループCSR 調達方針」の制定</li> <li>・国連グローバル・コンパクトへの参加表明</li> <li>・精密減速機『RV (TM) 』シリーズ生産累計500万台達成</li> <li>・“2013年 ボーイング サプライヤー・オブ・ザ・イヤー”を受賞</li> </ul> |  |
| 2014年5月  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・インド駐在員事務所開設</li> </ul>  |   |
| 2014年9月  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会的責任投資の国際指標「Dow Jones Sustainability Indices (DJSI) のAsia Pacific Index」に再選定</li> <li>・船舶用『電子ガバナ装置』納入累計7000台を達成</li> </ul>                         |  |
| 2014年10月 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・当社『パニックフリードア』が「第8回キッズデザイン賞」を受賞</li> <li>・格付投資情報センター(R&amp;I)より、発行体格付け「A(安定的)」を新規取得</li> </ul>   |  |
| 2014年12月 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・Bombardier 社から日本初の『鉄道車両用運転室ドアおよび車内ドア』のグローバルサプライヤーに認定</li> </ul>   |   |
| 2015年2月  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・中国における精密減速機の生産拠点設立および同国での油圧機器事業再編を発表</li> <li>・中国の減速機用歯車製造会社の完全子会社化および精密減速機生産拠点への移転を発表</li> </ul>   |   |
| 2015年3月  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ハイエストコーポレーション買収を発表</li> <li>・ボーイング 777X 向けフライト・コントロール・アクチュエーション・システムを受注</li> </ul>  |   |
| 2015年4月  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会的責任投資の国際指標「FTSE4Good Index Series」に12半期連続で選定</li> <li>・Siemens AG からフランス「レンヌ地下鉄」B路線向け NEOVAL車両の乗客用ドアを受注</li> </ul>                                |  |

うごかす、とめる。  
**Nabtesco**

